

キーワード

6 地域協働学校づくり

標 題

コラボレーション石井！
一人一人の子どもが輝き、現在や将来、真に豊かな生活を送ることを目指して
表現する力の育成
言語活動の充実を通して

①学校の概要（平成25年7月1日現在）

・児童生徒数425名 ・学級数15学級 ・教職員数47名

②取組を始めた経緯

平成16年度に岡山市教育委員会の「地域協働学校づくり」指定を受けて取組が始まった。平成24年度からは石井中学校区が「いきいき学校園づくり」事業の指定を受け、中学校区全体で「表現する力の育成～言語活動の充実を通して」という指導の重点の下で幼小中の連携をとりながら授業改善を進めている。

③取組の実施体制

石井中学校地域協働学校の学校協働部会を中心に学区全体で取り組んでいる

④学力向上に向けた具体的な取組

- 1 生活について
 - 身だしなみ指導の徹底（制服、名札、ヘルメット等）
 - 給食のエプロン・マスクの着用の徹底
 - 提出物を出す。宿題の提出を徹底し、教科をこえて宿題への取組を高めるようにする。部活動を含む放課後の活動でも教師が宿題の指導をする。
 - 朝読書（落ち着いて学習、生活ができる）
 - オフメディアの取組（中学校区で共通した取組）
 - 「小学生体験入学」「中学校生活を知る会」などで中1ギャップの解消をめざしている
- 2 学習について
 - 数学、英語の少人数指導（支援ボランティア）
 - 宿題（計算練習帳、単語練習ノート、漢字練習帳）
 - 基礎基本の時間（毎週水曜日、30分、習熟度別、国数英のドリル）
 - 定期考査期間中、長期休業中の質問教室
 - 各教科で「表現する力の育成」のためにどのように取り組むことができるか、教員の自己目標シートをもとに研修を行っている。
- 3 その他の取組について
 - 地域協働学校の取組として、学習支援等のボランティアの導入（ボランティアの方がいない日がほとんどなく、多数が参加）
 - 年2回の学校評価（適度な緊張感が生まれる）
 - 教職員の意識の高さ（共通理解し徹底する、高いレベルに合わせようとする）

⑤取組の成果と課題

取組が始まった頃の本校は生徒指導上の問題も多く、学校の様子に対して保護者や地域からの批判的な声が多かった。現在は比較的落ち着いた環境で学校生活に取り組むことができるようになり、学力も向上してきたので、例年保護者や地域に対して行っている学校評価アンケートでも高い評価を受けるようになってきた。

⑥取組の継続・発展の要因

一定の成果が上がっていることで、教職員が取組に対して自信を持って取り組もうとする姿勢ができています。

⑦管理職・中核教員等のアクション

学区内の校長会や教頭会、教務・主任部会などで7校園が情報交換をし、学区全体で同じ歩調で取り組んでいくことができています。

⑧資料・写真等

小学生体験入学のメニュー

